2027年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上場会社名　株式会社はるやまホールディングス　　上場取引所　東
コード番号　7416　URL https://www.haruyama.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役会長兼社長　(氏名) 治山　正史
問合せ先責任者　(役職名) 財務経理部長　(氏名) 岸本　行正　TEL 086-226-7101

半期報告書提出予定日　2026年11月13日
配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：　無
決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2026年4月1日～2026年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	12,922	△4.0	△1,769	―	△1,564	―	△1,728	―
2026年3月期中間期	13,465	△2.7	△2,076	―	△1,878	―	△2,307	―

(注) 包括利益　2027年3月期中間期　△1,445百万円　(―%)　2026年3月期中間期　△2,245百万円　(―%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	△110.24	―
2026年3月期中間期	△145.62	―

潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、1株当たり中間純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期中間期	38,206	20,986	54.9
2026年3月期	41,457	22,675	54.7

(参考) 自己資本　2027年3月期中間期　20,986百万円　2026年3月期　22,675百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	―	0.00	―	15.50	15.50
2027年3月期	―	0.00			
2027年3月期(予想)			―	15.50	15.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 2027年 3月期の連結業績予想(2026年 4月 1日～2027年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,300	0.2	150	―	500	―	100	―	6.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 ： 無

新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期中間期	16,485,078 株	2026年3月期	16,485,078 株
② 期末自己株式数	2027年3月期中間期	805,030 株	2026年3月期	805,025 株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2027年3月期中間期	15,680,050 株	2026年3月期中間期	15,847,618 株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P．2「1．経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）中間連結貸借対照表 …… 3
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 5
中間連結損益計算書 …… 5
中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（追加情報） …… 8
（中間連結損益計算書に関する注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（重要な後発事象） …… 8

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等により緩やかな持ち直しの動きがみられたものの、金融資本市場の変動や中東情勢の影響を受けたエネルギー価格の高止まり、各地で発生した自然災害の影響などにより、先行き不透明な状況が続いております。衣料品小売業界におきましては、生活必需品の価格上昇による負担が衣料品等への消費マインドの拡大を妨げており、依然として厳しい経営環境のまま推移しました。

このような環境の下、当社グループにおきましては「おしゃれで健康な生活を提供し、サポートするファッション・インフラ企業」というミッションのもと、多様化するビジネススタイルに対応した商品・サービスの拡充に注力いたしました。商品面におきましては、コンパクトに折りたたんで持ち運べる利便性と快適な着心地を両立したパッカブルセットアップ「ポン！パクトスーツ」を展開するなど、実用的な機能性を備えたオフィスカジュアル商品のラインナップ拡充を図りました。また、店舗戦略におきましては、健康衣料を中心に展開する「DRUG WEAR」について、ポップアップストアで顧客接点を広げつつ、常設店も出店するなど、計画的な店舗展開を推進したほか、英国サヴィルロウの名門ブランドの精神を受け継ぐ当社初のオーダースーツ専門店「STOVEL&MASON 銀座本店」を新規オープンいたしました。伝統的な本格仕立てと最新テクノロジーを融合させた高付加価値なオーダースーツの提案を通じて、新たな顧客層の獲得とブランドロイヤルティの向上に取り組みました。

このような取り組みにより、当中間連結会計期間におけるお客様一人あたりの購買単価は既存店前年同期比100.6％と堅調に推移しました。一方で、夏物衣料の立ち上がり時期において気温が低く推移したことや、台風や豪雨などの天候不順が重なったことにより、既存店客数は前年同期比98.0％となりました。また、物価高騰を背景に商品原価の上昇が続くなか、生産効率の見直しや発注ロットの最適化などを通じて仕入単価の抑制に努め、売上総利益率の維持を図りました。その結果、売上総利益は76億６千９百万円（前年同期比4.2％減）となりました。

また、営業利益面では、店舗運営の効率化や徹底した経費コントロールに努めた結果、販売費及び一般管理費は前年同期に比べ６億３千９百万円減少し、売上高販管費率は前年同期比で1.8ポイント改善しました。

店舗数に関しましては、グループ全体で６店舗の新規出店及び14店舗を閉店した結果、当中間連結会計期間末の総店舗数は355店舗となりました。

これらの結果、当中間連結会計期間におきましては、売上高129億２千２百万円（前年同期比4.0％減）となりました。利益面におきましては、コスト削減や経営効率化の成果が着実に現れ、営業損失17億６千９百万円（前年同期は営業損失20億７千６百万円）、経常損失15億６千４百万円（前年同期は経常損失18億７千８百万円）、親会社株主に帰属する中間純損失17億２千８百万円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失23億７百万円）となり、各段階利益ともに前年同期から改善いたしました。

（２）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の資産につきましては、主に現金及び預金が31億３千１百万円減少したこと等により、流動資産が33億１千４百万円減少いたしました。一方で、固定資産が６千４百万円増加した結果、総資産は前連結会計年度末に比べて32億５千万円減少し、382億６百万円となりました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金が５億７百万円減少したこと、約定返済により長期借入金（１年内返済予定の長期借入金を含む）が３億３千４百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べて15億６千１百万円減少し、172億２千万円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する中間純損失が17億２千８百万円あったことに加え、２億４千３百万円の期末配当を実施したこと等により、209億８千６百万円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点におきまして2026年５月15日に発表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、当社グループは事業の性質上、最終四半期連結会計期間（１月～３月）の売上高が他の四半期連結会計期間に比べて多くなる傾向にあります。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,317,713	5,185,786
受取手形及び売掛金	338,599	350,846
商品	9,471,655	10,712,295
貯蔵品	25,027	25,741
その他	3,291,408	1,854,974
貸倒引当金	△2,975	△2,652
流動資産合計	21,441,429	18,126,991
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,913,860	1,865,668
土地	9,753,405	9,816,330
その他（純額）	453,277	411,658
有形固定資産合計	12,120,543	12,093,656
無形固定資産		
その他	1,175,534	1,121,521
無形固定資産合計	1,175,534	1,121,521
投資その他の資産		
差入保証金	5,184,006	5,112,083
その他	1,575,733	1,792,658
貸倒引当金	△40,125	△40,211
投資その他の資産合計	6,719,614	6,864,530
固定資産合計	20,015,693	20,079,709
資産合計	41,457,122	38,206,701
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,055,559	1,548,442
短期借入金	5,200,000	5,200,000
１年内返済予定の長期借入金	2,312,419	2,090,060
未払法人税等	64,243	76,848
ポイント引当金	43,448	42,141
契約負債	336,102	333,191
賞与引当金	52,358	127,007
店舗閉鎖損失引当金	6,047	－
資産除去債務	53,955	30,129
その他	2,022,454	1,222,338
流動負債合計	12,146,588	10,670,157
固定負債		
長期借入金	2,976,251	2,863,999
退職給付に係る負債	1,387,037	1,397,494
資産除去債務	1,649,731	1,628,213
その他	622,335	660,661
固定負債合計	6,635,355	6,550,368
負債合計	18,781,944	17,220,526

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,991,368	3,991,368
資本剰余金	3,862,125	3,862,125
利益剰余金	15,179,245	13,207,607
自己株式	△593,894	△593,897
株主資本合計	22,438,844	20,467,203
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	236,130	518,848
繰延ヘッジ損益	203	122
その他の包括利益累計額合計	236,333	518,971
純資産合計	22,675,177	20,986,174
負債純資産合計	41,457,122	38,206,701

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	※1 13,465,954	※1 12,922,994
売上原価	5,463,526	5,253,443
売上総利益	8,002,427	7,669,551
販売費及び一般管理費	※2 10,078,949	※2 9,439,042
営業損失（△）	△2,076,521	△1,769,491
営業外収益		
受取利息	8,378	10,942
受取配当金	7,015	8,951
受取地代家賃	328,124	368,032
その他	23,251	15,941
営業外収益合計	366,769	403,868
営業外費用		
支払利息	23,295	51,434
賃貸費用	134,404	140,127
その他	10,880	7,762
営業外費用合計	168,580	199,324
経常損失（△）	△1,878,332	△1,564,946
特別利益		
固定資産売却益	－	36,702
受取保険金	12,760	－
特別利益合計	12,760	36,702
特別損失		
固定資産除売却損	84,333	76,762
減損損失	15,131	3,840
店舗閉鎖損失引当金繰入額	4,926	－
システム障害対応費用	40,749	－
災害による損失	－	※3 10,782
特別損失合計	145,140	91,385
税金等調整前中間純損失（△）	△2,010,712	△1,619,630
法人税、住民税及び事業税	61,943	59,752
法人税等調整額	235,090	49,213
法人税等合計	297,033	108,966
中間純損失（△）	△2,307,745	△1,728,596
親会社株主に帰属する中間純損失（△）	△2,307,745	△1,728,596

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純損失（△）	△2,307,745	△1,728,596
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	61,611	282,718
繰延ヘッジ損益	304	△80
その他の包括利益合計	61,915	282,637
中間包括利益	△2,245,829	△1,445,959
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	△2,245,829	△1,445,959

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失（△）	△2,010,712	△1,619,630
減価償却費	334,643	323,651
減損損失	15,131	3,840
ポイント引当金の増減額（△は減少）	4,797	△1,307
賞与引当金の増減額（△は減少）	74,945	74,649
貸倒引当金の増減額（△は減少）	586	△236
店舗閉鎖損失引当金の増減額（△は減少）	3,924	△6,047
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△10,475	10,457
受取利息及び受取配当金	△15,394	△19,894
支払利息	23,295	51,434
長期貸付金の家賃相殺額	34,847	23,323
固定資産除売却損益（△は益）	10,422	△7,459
売上債権の増減額（△は増加）	1,829,547	1,547,521
棚卸資産の増減額（△は増加）	△1,912,146	△1,241,353
仕入債務の増減額（△は減少）	△406,716	△507,117
経費支払手形・未払金の増減額（△は減少）	△734,360	△588,037
その他	△612,494	△332,691
小計	△3,370,157	△2,288,897
利息及び配当金の受取額	5,335	18,574
利息の支払額	△23,676	△53,461
補償金の受取額	－	23,668
法人税等の支払額	△58,964	△46,412
法人税等の還付額	30,078	16,068
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,417,384	△2,330,460
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額（△は増加）	－	△200,000
投資有価証券の売却による収入	0	－
有形固定資産の取得による支出	△316,741	△178,362
有形固定資産の売却による収入	－	43,590
無形固定資産の取得による支出	△264,252	△88,279
関係会社貸付けによる支出	△20,000	△20,000
長期貸付けによる支出	△150	△1,020
長期貸付金の回収による収入	1,404	1,274
差入保証金の差入による支出	△77,614	△21,480
差入保証金の回収による収入	57,728	92,103
その他	△48,795	△52,211
投資活動によるキャッシュ・フロー	△668,421	△424,386
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	1,100,000	－
長期借入れによる収入	1,095,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△1,593,682	△1,334,476
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,467	△584
自己株式の取得による支出	△243,181	△3
配当金の支払額	△319,465	△242,016
財務活動によるキャッシュ・フロー	37,203	△577,080
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△4,048,603	△3,331,927
現金及び現金同等物の期首残高	10,551,126	8,317,713
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,502,523	4,985,786

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（震災による影響）

「令和８年熊本地震」により、当社グループの一部店舗において建物設備の損壊及び商品の落下等による被害が発生いたしました。当中間連結財務諸表作成日現在において入手可能な情報に基づき算定した損害額を、災害による損失として計上しております。

なお、現在も被害状況及び損害額を調査中の物件があるため、現時点では業績への影響を合理的に算定することは困難でありますが、今後の復旧作業に伴い、固定資産除却損、棚卸資産に係る損失、その他、原状復旧費用等が追加で発生する可能性があります。

（中間連結損益計算書に関する注記）

※１．前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）及び当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

当社グループは事業の性質上、最終四半期連結会計期間（１月～３月）の売上高が他の四半期連結会計期間に比べて多くなる傾向にあります。

※２．販売費及び一般管理費の主要項目

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
役員報酬	65,950千円	54,122千円
給与及び賞与	2,336,455	2,319,644
退職給付費用	95,261	94,347
賞与引当金繰入額	82,445	75,809
雑給	825,921	803,046
賃借料	2,598,757	2,453,561
広告宣伝費	732,899	527,395
減価償却費	319,792	307,553

※３．災害による損失の内訳

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
商品廃棄損失	－千円	4,761千円
撤去・修繕費用	－	4,143
その他	－	1,878
計	－	10,782

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）及び当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

当社グループにおける報告セグメントは衣料品販売事業のみであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。